

受験番号	次世代学校教育創成 サブプログラム
------	----------------------

令和7年度
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題（10月実施）

共通科目

（10:00～11:30）

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 共通科目の問題には「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」があります。問題用紙の枚数は「教育原理に関する問題」が4枚、「教育心理に関する問題」が3枚です。
4. 「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」の解答用紙はそれぞれ1枚です。「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」はそれぞれ2問ずつありますので、すべて解答してください。
5. 解答用紙のホチキスは、外して解答してください。

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号	領域名
------	-----

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ） 4枚のうち 1枚目

問題1 次の（ ）の中にあてはまる適切な用語を，次ページに示した選択肢の中から一つ選び，その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 近代教育学の発展において「子どもの（ ① ）」をしたとされるルソー (1712-1778) は，その著書『エミール』の中で，人間がもつ自然に根ざした（ ② ）を中心とした教育のあり方を示した。その影響を受けた（ ③ ）(1746-1827) は，貧困層の子どもたちのために自ら学校を設置して経営するなど，教育のあり方を実践的に探究した。
- (2) 日本では1872（明治5）年に明治政府が「学制」を發布し，全国を（ ④ ）に分けた学校教育の仕組みを示した。その後，1886（明治19）年の「学校令」によって公教育の基本的な制度ができた。当初は学校の建設費や授業料の負担により（ ⑤ ）が伸び悩んだが，1900（明治33）年より義務教育が（ ⑥ ）化されたことで改善した。
- (3) 1985年に開催された（ ⑦ ）の成人教育会議における「学習権宣言」では，その権利が単なる（ ⑧ ）の手段やぜいたく品ではなく，人間の生存にとって不可欠のものであると唱えられた。日本では，基礎教育保障の観点から（ ⑨ ）の設置が次第に進められており，公教育のあり方に問い直しを迫っている。
- (4) 教育基本法は，公教育に関する最高法規であり，（ ⑩ ）を設けて制定趣旨を述べている。同法第3条は（ ⑪ ）学習の理念として，「国民一人一人があらゆる機会にあらゆる場所で学習することができ，その成果を適切に生かすことのできる社会の実現」を規定し，その条件整備や環境醸成として（ ⑫ ）教育の奨励や振興が位置づく。
- (5) 日本の学校組織は，校長や教頭の管理職が多く教諭等を束ねる「（ ⑬ ）型組織」といわれてきた。2007年の学校教育法の改正によって，「校長及び副校長（教頭）を助け，命を受けて（ ⑭ ）の一部を整理し，並びに児童（生徒）の教育をつかさどる」という職務を担う（ ⑮ ）の配置が可能になり，ミドルリーダーへの期待が高まった。

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4枚のうち 2枚目

選択肢（使わない用語もある）

- | | | |
|------------------------------|--|-----------|
| (ア) アリエス
(Philippe Ariès) | (イ) OECD | (ウ) 課外活動 |
| (エ) 学童保育 | (オ) 基礎学力 | (カ) 学区 |
| (キ) 家庭 | (ク) カント
(Immanuel Kant) | (ケ) 協働 |
| (コ) 経済発展 | (サ) 系統 | (シ) 公民館 |
| (ス) 校務 | (セ) 施行令 | (ソ) 指導主事 |
| (タ) 指導要録 | (チ) 社会 | (ツ) 就学率 |
| (テ) 主幹教諭 | (ト) 生涯 | (ナ) 外部指導員 |
| (ニ) 前文 | (ヌ) チーム | (ネ) 鍋ぶた |
| (ノ) 発見 | (ハ) 発明 | (ヒ) 番組 |
| (フ) ピラミッド | (ヘ) ペスタロッチ
(Johann Heinrich Pestalozzi) | (ホ) 無償 |
| (マ) 夜間中学 | (ミ) ユネスコ | (ム) 養護教諭 |

【 令和 7 年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4 枚のうち 3 枚目

問題 2 A 群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示した B 群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A 群】

- (1) 内閣総理大臣の諮問に応じて、教育改革に関する調査審議を行う機関として 1984 年に設置され、1985 年から 1987 年までに 4 次にわたる答申を提出し、その後の教育改革に大きな影響をもたらした。
- (2) 不登校児童生徒等の実態に配慮した特別な教育課程が編成できる学校として設置され、2023 年から「不登校特例校」の新名称として用いられることになった。
- (3) 第 4 期教育振興基本計画において、学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上を目指す基本的施策として、コミュニティ・スクールとの一体的推進が目指されている。
- (4) シカゴ大学附属実験学校において、「社会的な仕事」を扱った活動などを導入し、後に続く示唆的な教育プランや日本の学校教育に影響を与えた。
- (5) 2008 年から OECD（経済協力開発機構）が実施している、学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた国際調査であり、教育に関する分析や教育政策の検討に活かされる。
- (6) 20 世紀を代表するブラジルの教育思想家であり、1968 年に『被抑圧者の教育学』を著した。
- (7) 社会階層、人種、性別や宗教等の違いによって学校系統が分かれており、互いに交わることがない学校系統のあり方として、学校制度の共通化・単一化が進められる以前に多く存在した。
- (8) 第二次世界大戦後、日本の戦後教員養成改革において様々な大学で教員を養成し、多様な個性や能力を有した人材を確保できるように、教員養成を主たる目的としない私立大学等でも、教員免許の取得を可能にした。
- (9) 認知的スキルと共にバランスよく身に付けることが肝要とされ、2017 年・18 年告示の学習指導要領に示された育成すべき資質・能力のうち「学びに向かう力」に相当する。
- (10) 令和 5 年 4 月から施行された「こども基本法」において設置することが定められている、内閣総理大臣を長とする閣僚会議。

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4枚のうち 4枚目

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) TALIS
- (イ) 社会情動的スキル
- (ウ) 地域学校協働活動
- (エ) 臨時教育審議会
- (オ) PISA
- (カ) 単線型
- (キ) イヴァン・イリイチ (Ivan Illich)
- (ク) 学びの多様化学校
- (ケ) こども家庭庁
- (コ) デジタルスキル
- (サ) ペーター・ペーターゼン (Peter Petersen)
- (シ) オルタナティブ・スクール
- (ス) 文化的多様性に関する世界宣言
- (セ) 中央教育審議会
- (ソ) こども政策推進会議
- (タ) フリー・スクール
- (チ) ジョン・デューイ (John Dewey)
- (ツ) 複線型
- (テ) パウロ・フレイレ (Paulo Freire)
- (ト) 開放制の原則

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号	領域名
------	-----

共通科目（ 「教育心理に関する問題」 ） 3枚のうち 1枚目

問題1 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) この実験によって、一次的欲求を満たすことよりも接触が重要であることが示された。
- (2) 知能指数の平均値が年々上昇していること。
- (3) 課題の学習時に、進歩が一時的に停滞すること。
- (4) 精神分析の概念の一つであり、親や教師などの影響を受けて形成される。
- (5) 相互に信頼できる調和的な関係。
- (6) ソーンダイクによるネコの問題箱の実験はよく知られている。
- (7) 先行刺激の処理が、後続刺激の処理に影響すること。
- (8) 刷り込みの成立などで説明される。
- (9) 退行、抑圧、反動形成、昇華、合理化などが含まれる。
- (10) 意図的に収集した多様な学習の成果物を活用する手法。

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育心理に関する問題」 ） 3枚のうち 2枚目

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) 認知地図 (cognitive map)
- (イ) 空の巣症候群 (empty-nest syndrome)
- (ウ) 臨界期 (critical period)
- (エ) プラトー (plateau)
- (オ) フリン現象 (Flynn effect)
- (カ) 超自我 (superego)
- (キ) ラポール (rapport)
- (ク) プライミング (priming)
- (ケ) ポートフォリオ評価 (portfolio assessment)
- (コ) ダウン症候群 (Down syndrome)
- (サ) 葛藤 (conflict)
- (シ) パフォーマンス評価 (performance assessment)
- (ス) 試行錯誤学習 (trial and error)
- (セ) 動機づけ面接 (motivational interviewing)
- (ソ) 防衛機制 (defense mechanism)
- (タ) 代理母親 (surrogate mother)

【 令和7年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育心理に関する問題」 ） 3枚のうち 3枚目

問題2 A群の人名にもっとも関係の深い用語をB群の中から一つ選び、その記号を
解答欄に記入しなさい。

【A群】

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| (1) クーリー (Cooley, C. H.) | (2) エビングハウス (Ebbinghaus, H.) |
| (3) マズロー (Maslow, A. H.) | (4) ワトソン (Watson, J. B.) |
| (5) オルポート (Allport, G. W.) | (6) ビネー (Binet, A.) |
| (7) モレノ (Moreno, J. L.) | (8) ピアジェ (Piaget, J.) |
| (9) ホリングワース (Hollingworth, L. S.) | (10) スキャモン (Scammon, R. E.) |

【B群】(使わない用語もある)

- | | |
|--|--|
| (ア) 心誌
(psychograph) | (イ) 無意味綴り
(nonsense syllable) |
| (ウ) 選好注視法
(preferential looking method) | (エ) ソシオメトリック・テスト
(sociometric test) |
| (オ) 3つの山問題
(three mountains problem) | (カ) 投映法
(projective technique) |
| (キ) 欲求階層説
(need-hierarchy theory) | (ク) エピソード記憶
(episodic memory) |
| (ケ) 心理的離乳
(psychological weaning) | (コ) ストロープ効果
(Stroop effect) |
| (サ) 行動主義
(behaviorism) | (シ) リラクセーション
(relaxation) |
| (ス) 発育曲線
(growth curve) | (セ) 第二次集団
(secondary group) |
| (ソ) 知能検査
(intelligence test) | |